

# 平成27年10月 特約火災保険の改定について

損害保険料率算出機構の火災保険参考純率改定<sup>(注)</sup>にともない、特約火災保険は、平成27年10月1日以降を保険開始日とする契約について改定しました。  
なにとぞご了承くださいませよう、お願い申し上げます。



## 1 火災保険料を改定しました。

**基本保険料** (住居のみに使用される住宅・マンション等にお住まいのお客さまが改定の対象です。)

近年、大規模な自然災害(台風、竜巻、大雪、集中豪雨・水災等)が増加していることや、冬季の凍結や老朽化などにより水道管等の水濡れ事故も増加していることから、保険金のお支払いも増加しています。  
保険金支払い増加の要素が参考純率に反映されたことから、特約火災保険においても、住宅物件の基本保険料を改定しました。

保険料の改定率は、保険の対象の建物が所在する都道府県と建物の構造により異なります。

### 長期係数

長期係数とは、保険期間が2年以上の契約の保険料を一括払いする場合に、1年分の保険料率に乗じる係数です。

- ・保険期間が2年～3年の場合：長期係数の変更はありません。
- ・保険期間が4年以上の場合：長期係数を引き上げました。

保険期間	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
改定率	+1.4%	+2.3%	+2.0%	+2.5%	+2.2%	+2.7%	+3.7%

## 2 保険期間は、最長で10年としました。

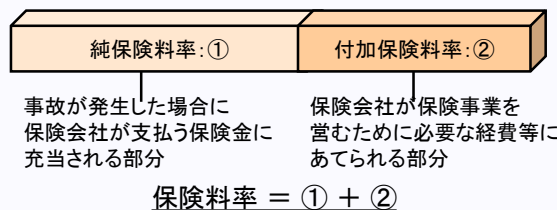
融資期間をカバーするため、特約火災保険の保険期間は最長36年として取り扱っておりましたが、自然災害の将来予測について不確実な要素が増していることから、平成27年10月1日以降を保険開始日とするご契約からの保険期間は最長で10年までとしました。

## 3 普通保険約款・特約を明確化しました。

普通保険約款・特約には、補償内容や条件等、保険金をお支払いするにあたっての要件等を定めています。お客さまと保険会社との認識の食い違いを防ぎ、わかりやすさの向上を図るため、普通保険約款・特約の内容を明確化しました。

### (注) 参考純率とは

損害保険料率算出機構が算出する「純保険料率」(保険金の支払いにあてられる部分)のことです。損保ジャパン日本興亜をはじめとする、多くの会員損害保険会社の保険金支払いに関するデータを用いて、火災保険の参考純率を算出しています。  
火災保険の参考純率改定の詳細は、同機構のホームページをご参照ください。



損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
特約火災保険部  
〒160-8313 東京都新宿区西新宿1-26-1

